

令和元年度(2019年度) 第2回北海道アウトドア資格制度推進会議 議事要旨

- 【日時】 令和2年(2020年)1月23日(木) 10時00分から11時30分まで
- 【場所】 道庁本庁舎 9階 経済部会議室
- 【出席者】 大森座長、笹本委員、黒田委員、金本委員、斉藤委員、阿久澤委員
〔資格制度業務センター(一般社団法人北海道体験観光推進協議会)〕
坂本代表理事、伊藤専務理事
〔事務局(北海道経済部観光局)〕
佐藤誘客担当局長、小林参事、長山主幹、渡邊主査、西尾主任

【議事】

(1) 北海道アウトドア活動振興条例について

●意見等

- 社会的背景として、SDGsやサステナビリティ(持続可能性)といったテーマがある中で、同条例には、自然との共生、安全の確保、社会貢献の3要素の文言が全て入っていると認識。今後アドベンチャートラベルを推進する上でも基礎ベースとなっている。
- 委員から条例の点検・検証(案)の内容について異論はなく、今後事務局において所要の手続きを進める。

(2) 次期北海道アウトドア活動振興推進計画の策定について

●意見等

- 現場のガイドが稼ぐという点と、受入体制整備という点がポイントとなり、「アドベンチャートラベル」に対応するために、資格制度や事業者のPRも含めて、ガイドとなる人材の確保と、その人材をどう育成していくかが重要。
- 北海道のアウトドア資格制度は、旅行業界のマーケットの中で信頼性が高く、メリットになる。そのメリットを活かすためにもガイドの収入を継続して確保することが大事。
- 来年度計画を検討する際には、①経営の安定化、②通年雇用、③アウトドア資格の優位性担保、この3点の課題への対応をどのように具体化するのかといった視点を盛り込んでほしい。

【報告】

(1) ATガイド育成カリキュラムについて

●意見等

- ATガイドや関連する全ての事業者に求められることは、ISO等の国際規格や国際基準に準拠した上でのサービス提供。制度構築に向けてしっかりと整理したい。
- アウトドアガイド有資格者のPRと、北海道のアウトドアフィールドに入ってくる外国人観光客への、服装やマナー、自然保護のルールといった情報についてもどこかで周知していただきたい。

以上